



注意

6月末からぐずついた天候（少照・多雨に加えて夜温の高い気象傾向）が続いていることから、コシヒカリの草丈が急激に伸長しています。一方で大きく葉色低下しているほ場が見受けられます。ほ場ごとに生育診断＝穂肥時期の「草丈×葉色」を確認してから、登熟期間の栄養が不足しないようしっかり穂肥施用（適期・適量）しましょう!!

1. コシヒカリの生育状況（7月10日現在）



| 地区 | 田植日 | 草丈(cm) | 茎数(本/m ²) | 葉数(葉) | 葉色 |
|----------|------|--------|-----------------------|-------|------|
| 寺泊 | 5/7 | 75.0 | 455 | 11.4 | 35.7 |
| 和島 | 5/8 | 78.8 | 545 | 11.8 | 36.7 |
| 出雲崎 | 5/5 | 76.2 | 351 | 11.5 | 34.7 |
| 与板 | 5/11 | 73.7 | 419 | 11.4 | 37.1 |
| 三島 | 5/5 | 75.7 | 359 | 11.3 | 34.2 |
| 越路 | 5/12 | 75.1 | 502 | 11.6 | 36.4 |
| 平均 | 5/8 | 75.9 | 459 | 11.5 | 35.9 |
| 7/10 指標値 | 5/10 | 66.0 | 450 | 11.0 | 36.0 |

草丈が急激に伸長しています!!

ほ場間差が大きくなっています!!

指標値比（差） 草丈：115%、茎数：102%、葉数：+0.5、葉色：-0.1

- ①【生育】コシヒカリの出穂盛期は8月1日ころ（平年より3日早い）となる見込みで1回目（出穂18日前）の穂肥時期は、7月13～16日ころとなりそうです。
- ②【穂肥】生育診断の結果、草丈が75cmを超えている場合、1回目穂肥の施用は遅め・控えめ（出穂15日前に基準量の半分程度）とします。2回目穂肥（出穂10日前）は、基準量（N成分：1～1.5kg）をしっかりと確実に施肥します!!
- ③【病虫害対策】管内全域で品種を問わず「葉いもち」の発生を確認しています。発病を確認したら、直ちに薬剤防除を実施してください。（裏面参照）

今がコシヒカリ生育診断の旬（適期）です!!



水稲の「生育診断」はJAにお任せください!!

皆さまからのご要望で現地ほ場に出向き、水稲の幼穂長や草丈・茎数・葉色等の生育を診断し、穂肥施用と栽培管理を個別に指導します。ぜひ、ご活用下さい!!

「生育診断チーム」設置・活動期間：7月上旬～7月下旬まで

～ 詳細につきましては、お気軽に最寄りの営農センターへお問い合わせください!!～

| | | |
|--|----------------|---------------|
| JAえちご中越 さんとう営農センター 農政企画課 ☎0258(41)2887 | さんとう北営農センター | ☎0258(74)3434 |
| | さんとう営農センター 営農課 | ☎0258(42)4133 |
| | こしじ営農センター | ☎0258(92)5606 |

裏面もご覧ください!!

2. 病害虫対策 ⇒ ほ場をこまめに巡回して「発生状況」を確認してください!!



①【いもち病】6/22の梅雨入り以降、いもち病に感染しやすい気象条件が断続的に発現し「葉いもち」が発生しています!!

②【紋枯病】今後の気象条件により、発生しやすい品種や前年に多発生したほ場では、病状・被害が進展しやすくなります。

➡ 発病を確認したら、直ちに薬剤防除を実施しましょう!

いもち病



| 対象病害 | 薬剤名 | 使用量・希釈倍数 | 摘要 |
|------|-----------------|---------------------------------|--------------------|
| いもち病 | カスミン液剤 | 1,000倍 | ※穂揃い期まで |
| | ゴウケツ1キロ粒剤【*】 | 1kg/10a | ※出穂5日前まで |
| | ブラシンフロアブル・粉剤【*】 | 1,000倍(707g/L) 3~4kg/10a(粉剤) | ※収穫7日前まで ごま葉枯病等 |
| 紋枯病 | バリダシン液剤・粉剤 | 1,000倍(液剤) 3~4kg/10a(粉剤) | ※収穫14日前まで |
| | リンバー粒剤【*】 | 3~4kg/10a | ※収穫30日前まで |

【*】のついている薬剤は、特別栽培米に使用できません!! ご注意ください。



③【カメムシ】カメムシ類の“発生密度”が高まっています!!

➡ 水田内(ノビエ・ホタルイ)、農道畦畔・雑草地(イネ科雑草)の雑草管理を徹底し、共同防除までに畦畔雑草が発生する場合には、今一度、草刈りや除草剤散布を徹底しましょう!!

「一斉草刈りウィーク 7月6日~7月13日」
斑点米カメムシ被害撲滅運動 実施中!

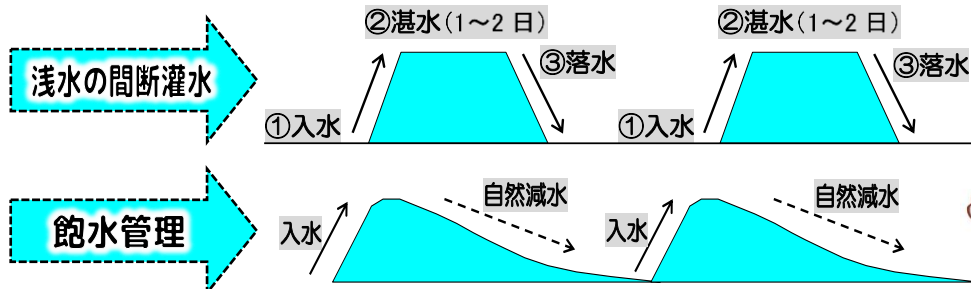


3. 今後の水管理

登熟促進~品質向上には“水管理”が重要です!!

降雨の多い気象傾向が続き、地耐力が確保できていない軟弱なほ場が多くなっています。今後もしばらくは不安定な気象が続く予報ですが…

➡ 「幼穂形成期から出穂期」は、水稻が最も水分を必要とする時期となります。コンバイン収穫に支障のない地耐力を確保しながら、飽水管理の徹底に努めましょう!!



「SDGsな水管理」
水は地域全体の貴重な資源です!!
→ かけ流しに注意してください!!

